

# 在宅医療セミナー

## 「人生の最期をどう迎えるか～平穏死のすすめ～」

先生方、三浦市の在宅医療の取組みを増やしましょう！

2025年・・・4人に1人が75歳以上という超高齢社会が到来する2025年。当市はすでに突入しています。医師、歯科医師、看護師、薬剤師、リハビリテーション職、栄養士、介護職員、ケアマネージャー等の皆さんが連携を強めることが求められています。

病院の先生・・・三浦市の有床一般病院は1か所です。在宅療養支援病院としても機能していますが、今後は、病床がいっぱいになり、要介護状態であっても、すぐに、入院することや病院で看取ることが難しくなるでしょう。また、栄養摂取方針によっては介護施設での引受が困難な場合が多くなります。在宅医療・介護連携しながら、医療の役割を果たすことが重要です。

診療所の先生・・・高齢で通院が困難になってくる方が増えてきています。これからますます「かかりつけ医」としての使命が求められる時代になってきています。在宅医療への参入はいかがでしょう！

2025年に向かって、日々求められる機能と、変化していく医療。在宅や施設での在宅療養の体制を考え、整え、準備していくことが重要です。高齢化率37%の三浦市。在宅医療の現状と課題を共有し、一丸となって取組を進める足がかりと仕組づくりを目指して・・・

日時 令和元年8月9日（金）19時00分～21時00分

会場 マホロバマインズ三浦 本館14階（ラ・メール）※北棟エレベーター利用  
※夏期期間中のため会場駐車場が満車の恐れがあります。あらかじめ近隣の有料駐車場等のご利用をお勧めいたします。

対象 医師、歯科医師（診療所・病院勤務医師、その他）、薬剤師、訪問看護師、リハビリテーション専門職、歯科衛生士、管理栄養士、栄養士、社会福祉士、介護職、その他このセミナーを必要とする関係者 ※医師の診療科は問わず。

定員 先着70名

内容とお申し込み方法は  
裏面をご覧ください

主催 一般社団法人三浦市医師会  
共催 三浦市、神奈川県鎌倉保健福祉事務所三崎センター  
協力 三浦市地域ケア連携会議

## プログラム

主催者あいさつ

三浦市の現状

三浦市医師会

【座長 三浦市医師会理事 藁谷 収】

講演 「人生の最期をどう迎えるか～平穩死のすすめ～」  
講師 世田谷区立特別養護老人ホーム

芦花ホーム 医師

いしとび こうぞう

石飛 幸三 先生



《講師：石飛 幸三先生ご略歴》

1935年広島県生まれ。

1961年慶応義塾大学医学部卒業。

消化器外科専攻、その発展の為に血液外科の必要性を感じて1970年からドイツのフェルディナンド・ザウアーブルッフ記念病院で血管外科医として勤務。

1972年より東京都済生会中央病院で血液外科の応用手術に励むとともに30年間に渡って脳梗塞の予防を目的とする頸動脈内膜摘除術や野球ピッチャーの血管損傷の手術法の発展に寄与した。老衰へどこまで医療が介入するべきかを考え、2005年12月より特別養護老人ホーム芦花ホームに勤務し、現在に至る。

《著作》

「平穩死」のすすめ 口から食べられなくなったらどうしますか(講談社)

「平穩死」を迎えるレッスン(誠文堂新光社)

「平穩死」という生き方(幻冬舎) など他多数。

参加申込 別紙申込用紙に、必要事項を記入の上、FAXで、下記までお申し込みください。

締切 令和元年7月18日(木)必着。

期限前でも、先着70名になり次第締め切ります。

## 問い合わせ及び申し込み先

三浦市医師会事務局

TEL 046-881-2376

FAX 046-881-2392

E-mail me156301@pastel.ocn.ne.jp

